



公益社団法人 日本青年会議所

# 教育活動を通じた地域振興・再生に 関する取組について

公益社団法人 日本青年会議所  
資質向上委員会  
委員長 飯塚 康弘

**名称: *Junior Chamber International (JCI), Inc.***

**若いリーダー、社会起業家で構成される  
国際的な組織**

**会員数: 115カ所の国と地域、  
4,780の各地青年会議所、173,016人**

Europe

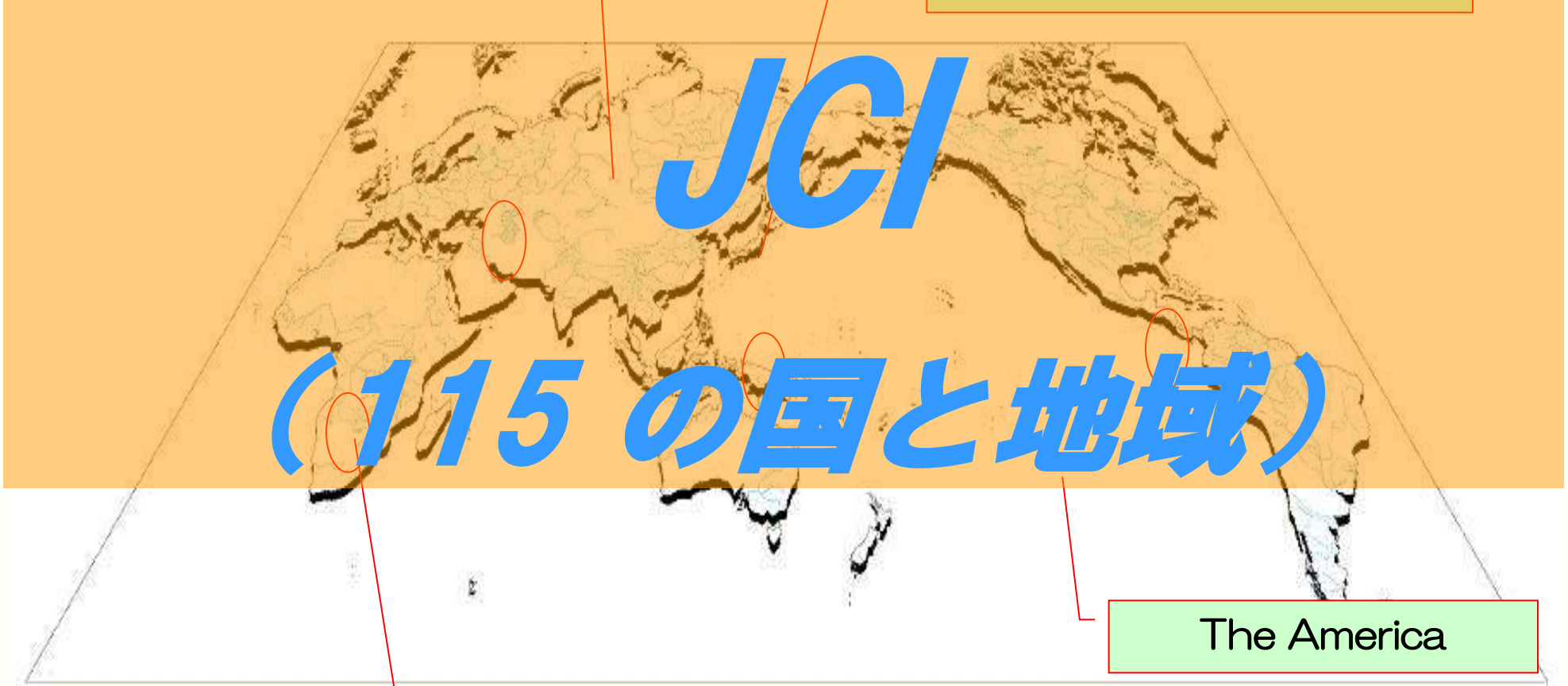
Asia and the Pacific

JCI

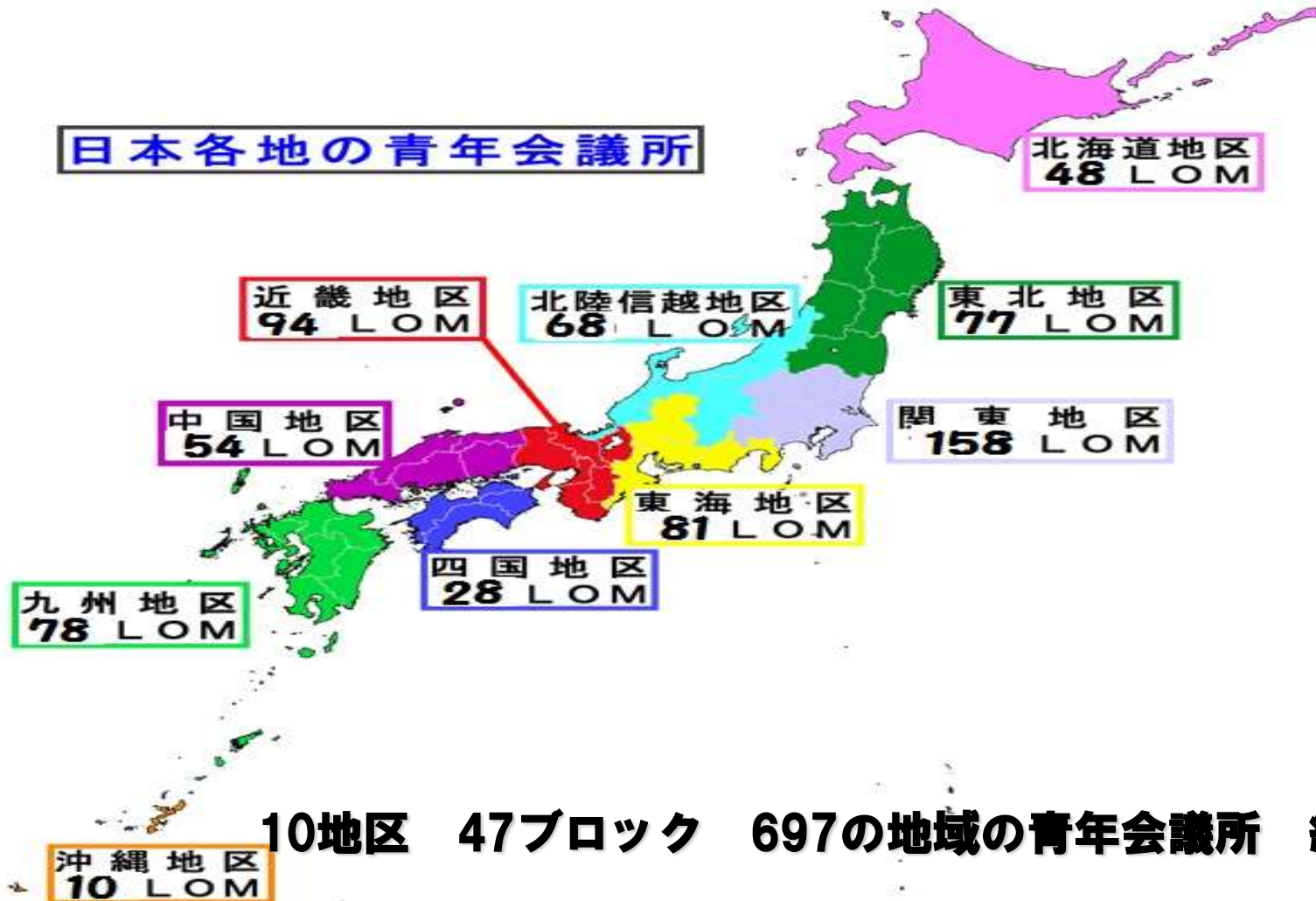
(115 の国と地域)

The America

Africa and the  
Middle East



日本各地の青年会議所



10地区 47ブロック 697の地域の青年会議所 約35,000人

地図画像は「白地図KenMap」の画像を編集したものを利用

# 日本各地青少年育成事業事例



# 2015年度日本JCスローガン

美しく先駆けよう！

すべては未来を生きる人のために

- ・国の方針である地方創生により各地域がそれぞれの特性を活かした独自のまちづくりを行っていくことが必要
- ・アベノミクスや、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催

これらの好機を生かすために、各地域が様々な機会や地域特性を活かし、地域の自立自活に向けた取り組みをすることが必要



**各々の地域を輝かせ、日本を再興させる。**

# 地方創生に向けての取り組み

【サマーコンファレンス2015】  
地域再興フォーラム



【サマーコンファレンス2015】  
地域再興政策コンテスト





# 石破大臣にコンテストの提言書を贈呈



# 日本青年会議所の 土曜学習への取り組み

- 全国各地青年会議所への土曜学習の周知。土曜学習応援団への登録、並びに登録の呼びかけ。
- 土曜学習実施校、並びに実施予定校へのJCプログラム活用のご案内・説明。
- 土曜学習未実施地域、並びに学校の現状調査。

# 青年会議所のメリットは？

①費用がかからない

②豊富な事業内容

③地域に根差した団体である

④全国697のネットワーク

# 公益社団法人高岡青年会議所 ワクワクMAXキャンプ

## ○事業の背景・目的

青少年の健全な成長の実現にとって、子供たちがどのような大人を目指すべきなのかを意識しながら、将来に向かって歩むことが大切です。今事業では青少年が自分の意思で人のために行動できる人へ成長することが出来るよう、自分で考え率先して行動する力を養うことを目的とします。

## ○事業内容—座学(授業)と体験学習の2部構成

- ・座学・・・「志」を学ぶ講演会と「ありがとう」を学ぶセミナー
- ・体験学習・・・参加者がプログラム内容を自分たちで考え、仲間の気持ちを思いやり、共に励まし、助けあいながら進めていきます。

# 公益社団法人高岡青年会議所 ワクワクMAXキャンプ

- 座学「志の授業 ～ビーアンビシャス!2015～」



# 公益社団法人高岡青年会議所

## ワクワクMAXキャンプ

体験事業 「ワクワクMAXキャンプ

～僕らが決める僕らの冒険～」



# 鹿児島訪問

県教育委員会



県内各地青年会議所



市教育委員会



喜界小学校



# なぜ鹿児島に注力するのか？

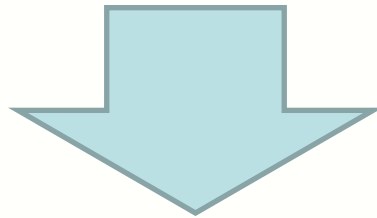
成績向上めざし土曜授業を開始 鹿児島、全国で初

※日経新聞 2015年4月11日記事より抜粋

児童生徒の成績向上を目指し、鹿児島県の一部地域で11日、月1回の土曜授業がスタートした。

10月までに**県内全ての公立小中学校**で順次始まる。文部科学省によると、都道府県単位で土曜授業を導入するのは、学校週5日制に完全移行した**2002年以降、全国で初めて**。

授業の内容は各校の判断に任されており(中略)県教育委員会が昨年12月、全ての市町村教委に土曜授業の導入を要請。全校で第2土曜日の午前中に3こまの授業を実施することになった。授業時間を増やして学力をアップさせ、地域で活躍する人を招いた出前授業なども予定している。



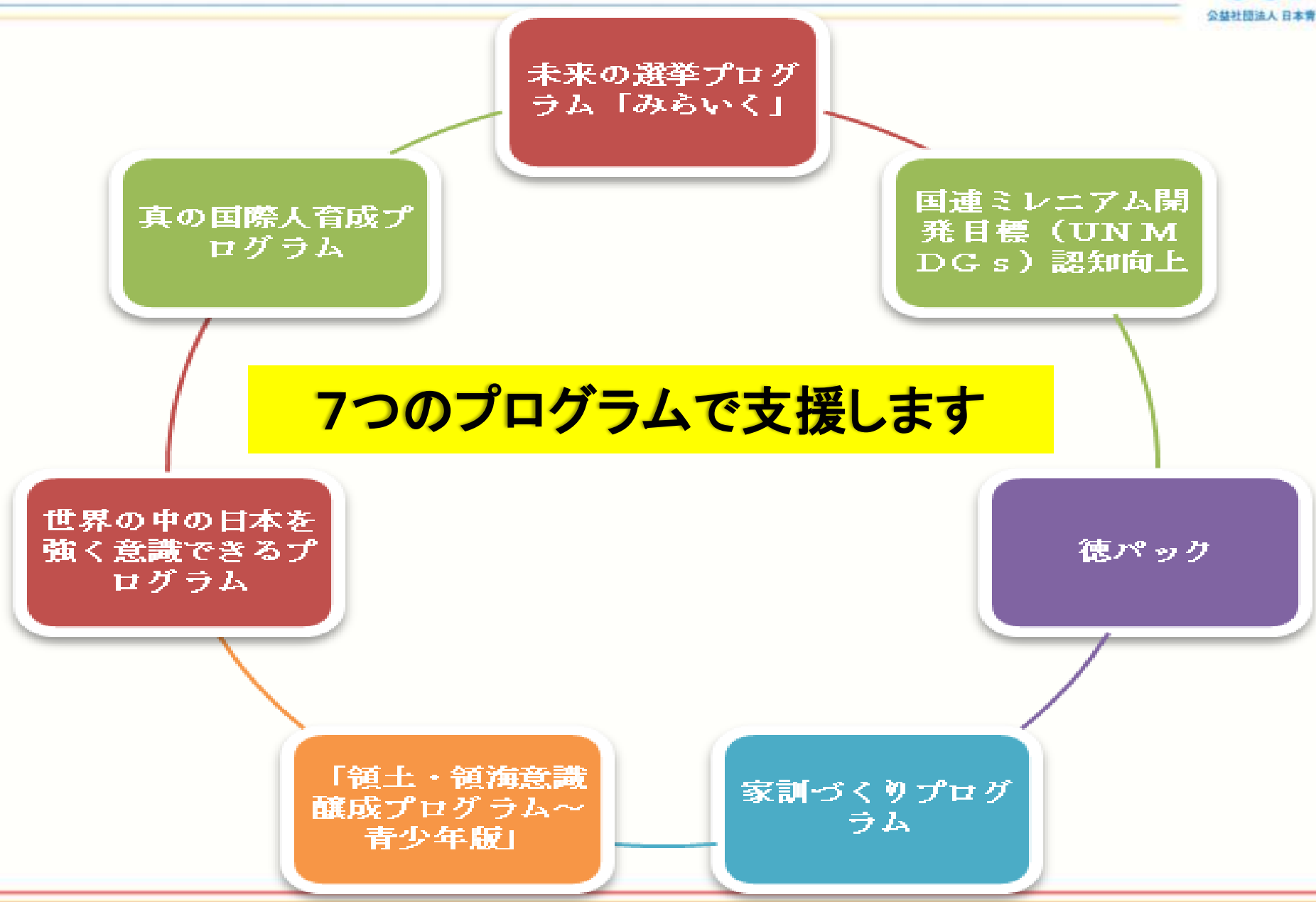
全国の教育関係者が鹿児島に注目している



# 土曜授業でできる事業は？

①今まで通り各地青年会議所で行われている青少年育成事業

②日本JCの土曜授業推奨プログラム・ゼミナール



未来の選挙プログラム「みらいいく」

真の国際人育成プログラム

国連ミレニアム開発目標 (UN MDGs) 認知向上

7つのプログラムで支援します

世界の日本の強く意識できるプログラム

徳パック

「領土・領海意識醸成プログラム～青少年版」

家訓づくりプログラム

# 各種プログラムの説明①

## 未来の選挙教育プログラム「みらいく」

趣旨目的	<p>“未来”の有権者である子供たちに対して、「選挙」を通じて小中学生に民主主義の価値を伝え、選挙において投票を行うことの意義や重要性を理解してもらい、将来、成人になり選挙権を有した時に、積極的な政治参画を行なうことを促す教育プログラムです。</p>		
実施時間	45分	実施人数	適宜対応
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主主義の仕組みと選挙について学ぶ。</li> <li>・身近な事例や地域の問題を投票テーマとして扱う。</li> <li>・実際に皆で意見を聞き投票をおこなう。</li> </ul>		

## 世界の中の日本を強く意識できるプログラム

趣旨目的	<p>日本の素晴らしさや世界での役割、世界の実情を学ぶことで、日本固有の文化や特殊性に気づき、世界の中の日本がどのような位置づけにあるのかを知ってもらうと共に、世界の中の日本を意識し、日本人のころをもつて国際交流することへの意識をもつことを促す教育プログラムです。</p>		
実施時間	45～80分	実施人数	40名程度
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズなどを活用し、楽しく世界の中の日本について学ぶ。</li> <li>・多くの事例の紹介から、世界の国々について学ぶ。</li> <li>・日本の心を広めた先人たちについて学ぶ。</li> <li>・日本と世界について考えるディスカッション。</li> </ul>		

# 各種プログラムの説明②

## 国連ミレニアム開発目標 (UN MDGs) 認知向上プログラム

趣旨目的	<p>国連ミレニアム開発目標 (UN MDGs) は国際社会における貧困、男女差別、健康面、教育環境の問題解決のために、2015年までに達成すべき国連加盟国と国際機関の共通目標です。</p> <p>UN MDGs 認知向上プログラムは国際社会の抱える問題を理解し認知度の向上につなげ国際協力に関する国民意識を喚起する事を目的としたプログラムです。</p>		
実施時間	45分	実施人数	30名程度
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の現状や抱える問題について映像などを用いてわかりやすく説明する。</li> <li>・日本人の持つ「OMOIYARIの心」が世界の課題を解決することを伝える。</li> </ul> <p>将来の問題解決や世界の平和のために何が出来るかについてグループディスカッション。</p>		

## 真の国際人育成プログラム

趣旨目的	<p>近年多くの日本人は外ばかりを見て素晴らしい日本の価値に目を向けていないのではないのでしょうか。日本のアイデンティティを見つめ直し、日本人としてのアイデンティティ確立の重要性を認識し、相互理解の意義を正しく理解すること及び実践することのできる「真の国際人」の育成を目的とするプログラムです。</p>		
実施時間	45分	実施人数	15名以上
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教や「江戸しぐさ」を通じて古くから伝わる作法や風習など日本古来の文化を学ぶ。</li> <li>・自国と他国それぞれの良さを考え、相互理解について学ぶ。</li> </ul>		

# 各種プログラムの説明③

家訓づくりプログラム			
趣旨目的	<p>日本には古くから、子孫に残す教訓や戒めなどを「家訓」として残してきた歴史があります。この家訓づくりを通じて子供たちに家族や祖先について考える機会を作り、道徳心を身につけることにつながることを目的としたプログラムです。</p>		
実施時間	80分	実施人数	100名まで
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親から言われたことなどを書き出すワークショップを通じて自分の価値観を見つめなおします。</li> <li>・それを用いて「家訓」を作成します。</li> <li>・全員の前で発表します。</li> <li>・親子参加型としても多く開催されています。</li> </ul>		

青少年版領土・領海意識醸成プログラム			
趣旨目的	<p>日本の領土・領海について詳しく知らない大人が増えています。その為子供のころから、正しい知識を養うことが必要です。日本が世界有数の海洋国家で水産資源や海底資源が多くあること、またその領土を築き守ってきた先人がいることを知ってもらい、領土領海について深い意識と知識をもっといただくプログラムです。</p>		
実施時間	45分	実施人数	問わず
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズなどを活用し、楽しく日本の領土や領海について学ぶ。</li> <li>・現在起きている領土・領海問題について学ぶ。</li> <li>・日本の領土・領海について考えるディスカッション。</li> </ul>		

# 各種プログラムの説明④

日本の情緒と道徳心を育む「徳育」ゼミナール			
趣旨目的	<p>多くの支えの中で生かされていることへの感謝とつながりの中で自分が存在していることを認識し、日本の情緒「他者を慮る」心を通して利他の心、思いやりの心の必要性を理解し、日本人であることの必要性を理解し、日本人であることの誇りや日本人に生き方を感じてもらおうプログラムです。</p>		
実施時間	45分	実施人数	30名以上
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な「ありがとう」を思い返し、書き込んでもらうことにより、感謝の心と人と人のつながりについて気付いてもらいます。</li> <li>・グループワークを通し、自分と家族・学校について関わりについて考えさせ、人との関わりにおける自分の感じ方や考え方を学んでもらいます。</li> <li>・親子参加型としても多く開催されています。</li> </ul>		

**公立小学校土曜授業における  
青少年育成事業の開催  
各種プログラムの活用  
よろしくお願ひします**